

## 3 親水施設

流域一帯には、空堀川の旧河川を活用した親水公園「清瀬せせらぎ公園」をはじめ、夏にはホタルの観察ができ、冬には10万株の日本水仙が観賞できる「清瀬金山緑地公園」、カワセミなど100種程といわれる野鳥が観察できる「金山調節池」、清瀬水再生センターに隣接して整備された「清瀬下宿ビオトープ公園」など、親水性の高い公園等の施設が集積しています。また、市が市民からの寄付を基に展開している「椅子のあるまちづくり事業」により、これら親水施設や遊歩道にオリジナルデザインの椅子21基が置かれ、散策する人々の休息ポイントになっています。



「清瀬せせらぎ公園」  
せせらぎ公園の遊歩道と浅瀬



「清瀬せせらぎ公園」  
せせらぎ公園内の学習管理棟



「清瀬金山緑地公園」  
金山緑地公園の石橋



「金山調節池」  
調節池（中の島）を望む

## 4 文化財

この流域には、豊かな緑と多くの親水施設「緑と水の安らぎの空間」が形成されていますが、江戸期、明治期の民家（江戸後期＝旧森田家、明治後期＝旧加藤家）が移築保存されているほか、流域周辺地域には市指定有形文化財「長屋門」や「びわかけの松」、「梅坂の花嫁」、「一文坂」、「こわしみず」、「舞台」といった民話が言い伝えられ、また、都指定無形民俗文化財である「下宿の塞ぎ」が伝えられています。



「旧森田家」  
江戸時代後期の本百姓家  
市指定有形文化財の森田  
家の主屋



「長屋門」  
市指定有形文化財の円通寺長屋門  
正面 14.1m、奥行 4.7m



「びわかけの松の石碑」  
古くから言い伝えられる清瀬  
の民話「びわかけの松」の石  
碑（野塩円福寺薬師堂）